

第53代横綱 琴櫻傑将

その道のりは辛く長く
いく度もケガに泣き
大関在位5年余32場所
万年大関と言われ
気がつけば
32歳になっていた

昭和47年11月場所
48年1月場所と
連続優勝を果たした後
推挙されて
第53代横綱
琴櫻が誕生しました

柔道は
警察官だった
父親が手ほどきを
相撲でも大活躍し
全国高校相撲大会では
個人3位に入賞しました！

その思われた体を
生かして柔道と相撲に
汗を流しました

中学2年生で
初段位を獲得

偶然これを知った
佐渡ヶ嶽親方は
代理人を介して
鎌谷家に紀雄の入門を
申し入れましたが……

柔道には
柔道家の道を
歩んでもらいたく
大学へ進学させようと
思うようになります

しかし
昭和33年
12月
紀雄は
東京行きの
夜行列車にいました

父ちゃん
母ちゃん……

オレ相撲取りに
なりたい
どうか東京に
行かせてください

紀雄の固い決意を
聞かされた両親は
しぶしぶ承諾したのです

まだまだ
もう一番
お願い……

よし
次だ！

……失神
したぞ

失神しないと
稽古が終わらない
なんて、どれだけ
稽古好きなんだよ

昭和34年1月場所
師匠から貰った
琴櫻の四股名で
初土俵を踏む……

稽古で鍛えた
体力と柔道
仕込みの投技で
快進撃！

その後、投げ技中心から
前に出る
突き押し相撲に変えて
快進撃！

昭和37年7月場所には
十兩入りし
その後、2度の優勝を
果たして幕内に入りました

そして
昭和39年初場所
新小結の座を
獲得すると
大関横綱も
近いと
周囲の期待も
高まりました

ところが
6日目の
横綱戦にて

最初の
試練が……

琴櫻は右足首に
再起不能と
言われるまでの大けがを
してしまったのです！

しかし！

復活した琴櫻の
突き押し相撲は
さらに磨かれて
いました
その姿は「猛牛」と
呼ばれるほど！

その勢いで
昭和42年の9月場所
二横綱と大関を倒し
11月場所で大関に昇進したのです

昭和45年6月2日
私生活でも佳き日を
迎えました
岩下章予さんと
華燭の典を挙げ
800人を超える人々から
祝福をうけました

大関から横綱へは
近いと思われていた
琴櫻でしたが、その後も
ケガに泣かれ
大関在位は長期に……

ところが
昭和47年11月場所
強烈な出足で
白星を重ねて
優勝すると

翌年
昭和48年1月場所
14勝1敗の好成績で
連続優勝を果たし

そして
第53代横綱
「琴櫻」が
誕生！

横綱在位中は
1回の優勝を
果たし
昭和49年7月場所
惜しまれながら
引退しました

引退後は
佐渡ヶ嶽部屋を
継ぐと自ら
胸を貫し

琴ノ若
現、佐渡ヶ嶽親方
多くの力士を育て
合計24名の関取を
世に送り出しました

また故郷の倉吉で
毎年開催される
桜すもうに協力し
部屋の力士を
同行させました

子どもたちに
夢を育て
ほしいとの
思いからです

子どもたちの歓声や
笑顔を見つめる
優しい
眼差し……

そんな琴櫻も
平成19年
8月14日……
66歳でその生涯を
閉じました

しかし
倉吉を
訪ねると……

大好きな倉吉を
見守るように
颯爽と立つ琴櫻に
会うことができます

